

特別の教科 道徳学習指導案

指導者 海田町立海田西小学校

- 1 日 時 平成 30 年 10 月 24 日 (水)
- 2 学 年 第 1 学年 1 組 (男子 19 名 女子 13 名 計 32 名)
- 3 主題名 よいと思う心 【A 善悪の判断, 自律, 自由と責任】
- 4 資料名 「ダメ」(出典:「あたらしいどうとく①」 東京書籍
くすのき しげのり原作, いもと ようこ文・絵 佼成出版社 による)
- 5 ねらい よいと思ったことは, 恐れなくて, 勇気をもって行おうとする意欲や態度を養う。
- 6 主題設定の理由

(1) 主題観

この内容項目は, 学習指導要領特別の教科道徳 A「主として自分自身に関する事」の〔善悪の判断, 自律, 自由と責任〕に当たり, 「よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。」ができる意欲や態度を養うことを目標としている。

低学年の段階においては, 何事にも興味・関心を示し, 意欲的に取り組むことが多い。一方で, 他律的で自己中心的な場合も多くあり, 善悪の判断が他の児童に影響されたり, 力関係から正しいと思う行動ができなかったりすることもある。また, 何か起こった時, 自分の力で解決しようとせず, 教師や親など, 大人に頼ろうとする傾向もみられる。低学年のうちから, 人として行ってよいことや行ってはならないことを自分自身でしっかりと区別したり, 判断したりする力を身に付けていくことは大切なことであると考え, 本主題を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は, 入学して半年が過ぎ, 小学校生活にもかなり慣れてきた。友達同士で声を掛け合って遊んだり, グループ活動や係・当番活動をしたりしながら, いろいろな友達との関わりが増えてきている。その中で, 友達同士のトラブルも起こっており, 自分の気持ちを優先し, 善悪の判断なしで考えを主張したり, 相手の反応が怖くて自分の気持ちをうまく伝えられなかったりした場面があった。事前アンケートでも, 正しいと思ったことを友達に伝えられなかったと答えた児童が 32 人中 12 人おり, 善悪の判断はできても, 正しいと思ったことを伝えるなど, 行動に移すことは難しいことが分かる。「言おうと思ったけどうまく言えなかった。」「伝えたい部分を伝えられず, さらに揉めてしまった。」など, 行動しようとはしたがうまくいかなかった経験をもつ児童もおり, 行動に移すことの難しさを児童自身も感じているようである。

(3) 指導観

本資料は, りすくん(ぼく)が大好きなプリンをくまくんに食べられてしまうというものである。体も声も大きいくまくんにりすくんは何でも譲ってきたが, 大好きなプリンを食べられた時に, 自分が食べたいから, 食べては「ダメ。」と本当の自分の気持ちを言えなかったことが悔しくて, くまくんに謝ってほしいことを伝える。くまくんに気持ちを伝えるまでには心の葛藤があり, それでも今言わなかったらずっとこのままだと気づき, りすくんは勇気をもって気持ちを伝えるという内容である。展開前半では, 「もし, 自分がりすくんの立場だったら, 自分が正しいと思った行動をとるだろうか。」という問いを投げかけ, 自分の考えをまとめ,

発表させる。りすくんの判断と心情を自分に置き換えて考えさせることで、道徳的価値の理解を深めさせたい。その中で、正しいことをすると答えた児童には、勇気を出して正しいことができることは素晴らしいと認め、正しいこととは分かっているがなかなかできないと答えた児童には、正しいことだと分かっていることが素晴らしいと共感的な声かけをしていく。そうすることで、「議論する道徳」の素地を養い、今後の道徳学習へとつなげていきたい。また、展開後半では、りすくんとくまくんの両面の思いを動作化を通して考えていきたい。くまくんにプリンを食べられ、もやもやした気持ちのりすくん。いつも食べるのが遅いりすくんを手伝ってあげたと、悪いことではなくむしろよいことをしたと思っているくまくん。動作化をすることで、登場人物の思いが捉えやすくなったり、多面的・多角的によりよい行動とはどういうものかを考えやすくなったりするのではないかと考える。そして、終末では、振り返りを通して、自分が嫌なことは嫌だと伝えてみよう、自分が正しいと思ったことを勇気を出してやってみようとする意欲を持たせたい。学習前と学習後では気持ちにどんな変化が現れたかを振り返ることで、自分にもできそうだとこれからの生活に前向きな気持ちを持たせて学習を終わりたい。

7 本学習において育成したい資質・能力

育成したい資質・能力は、①課題発見・解決力 ②主体性 ③チャレンジ精神の3つである。本学習で重点的に指導したい資質・能力は次のとおりである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
課題発見・解決力	資料の中から誰のどんな行動がいけなかったのか、道徳的な問題に気付くとともに、資料や生活体験などを基に道徳的価値に関わる物事を多面的・多角的に捉えようとしている。
主体性	登場人物への自我関与を中心として道徳的価値の理解を深めようとしている。
チャレンジ精神	学んだ道徳的価値に照らして、自らの生活や考えを見つめ直し、発展させていこうとしている。

8 本時の展開

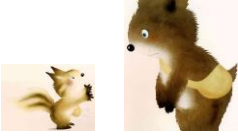
過程	学習活動 (◎主発問 ○発問)	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した児童への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	<p>1 課題意識をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたは、自分が正しいと思ったことを友達に伝えられますか。また、その気持ちを伝えられなくて困ったことはありませんか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まよったときは、どうしたらいいのかな。</p> </div>	◇自分の気持ちを素直に伝えられるか、挙手にて事前アンケートを簡単に振り返る。その際、自分の素直な気持ちを相手に伝えることの難しさに触れ、課題意識をもつきっかけにする。	

<p>展開</p>	<p>2 資料「ダメ」を見て、話し合う。</p> <p>○くまくんにプリンを食べられたとき、「ぼく」（りすくん）は何故「ダメ。」と言えなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまくんが大きくて怖いから。 ・いつもくまくんにゆずってあげていたから。→なんで譲ってあげていたのかな <p>○「よし、あした、くまくんにいおう。」と、「ぼく」が決めたのはどうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンを食べられて悔しかったから。 ・「ダメ。」って言えなくて悔しかったから。 ・ずっと嫌な思いはしたくないから。 <p>◎もし、あなたが「ぼく」だったら、くまくんに「ダメ。」と言えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言える。 ・言えない。 <p>協働の場面での児童の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、「ダメ。」と言います。わけは、自分がしてほしいことをもうされたくないから、言った方がいいと思ったからです。 ・私は、「ダメ。」と言えないと思います。わけは、自分より体も声も大きい相手だから、怖くて言えないと思います。 ・ぼくは、どうするか迷っています。言った方がいいとは思いますが、勇気が出そうにないです。 	<p>◇スライドの紙芝居を用意し、話の内容を理解しやすくする。</p> <p>◇体や声が大きいくまくんの特徴や、「ぼく」がくまくんを恐れて何でも譲ってあげていたことを確認し、断れない「ぼく」の心情に共感させる。</p> <p>◇くまくんに突き飛ばされたらどうしようなど、不安な気持ちはあるが、自分が嫌なことは正直に相手に伝えようと考えている「ぼく」の気持ちに寄り添えるよう声かけを行う。</p> <p>◇「ぼく」の判断と心情を自分に置き換えて考えさせ、道徳的価値の理解を深める。</p> <p>◆ワークシートに理由の記入が難しい児童には、言えるか言えないかだけでも記入するよう声をかける。</p> <p>◇ワークシートに考えを整理させた後、ネームプレートを黒板に貼り、自分の判断を示す。それを基に、それぞれの考えを発表させる。</p> <p>◇それぞれの理由を聞く中で、「言えない」「分からない」にした児童にも、素直な気持ちを相手に伝えることの難しさがあることに共感的理解を示す。</p>	<p>★ 登場人物への自我関与を中心として道徳的価値の理解を深めようとしている。</p> <p>【主体性】 (行動観察・ワークシート)</p>
-----------	---	--	--

	<p>○「わ、わかった。わかった。プリンたべて、ごめん。」とくまくんが謝ってくれたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝ってくれてうれしいな。 ・ちゃんと言えてよかった。 ・これからも自分が嫌なことは伝えていこう。 	<p>◇くまくんが自分の行動を悪いと思っていなかったことも確認しながら、「ぼく」とくまくんの会話を動作化させ、謝ってもらった「ぼく」の気持ちを共感できるようにする。</p> <p>◇不安だった「ぼく」だが、正しいと思った行動をした結果、謝ってもらったことを振り返り、よりよい行動だったことを確認する。</p>	
まとめ	<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>○学習で考えたことや、最初と最後に考えが変わったことなどを振り返りましょう。</p>	<p>◇迷ったときにはどうしたらよいか、今日の学習で考えたことや考えが変わったことなどを振り返るよう声かけを行う。</p>	<p>○ よいと思ったことは、恐れなくて、勇気をもって行動しようと考えている。 (発表・ワークシート)</p>
	<p>めざす児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちはきちんと友達に伝えようと思いました。 ・怖くても、大切なことは言わなくちゃいけないんだなと思いました。 ・はじめは言えないと思っていたけど、勇気を出して言ってみようかなと思いました。 		


9 板書計画

よいとおもったことは ゆうきをだして



- ・あやまってくれてうれしいな。
- ・ちゃんといえてよかった。
- ・これからも、じぶんがいやなことはちゃんとつたえよう。


いえない



よし、あしにた、くまくんにおう。

いえる

- ・じぶんがしてほしくないことを、もうしきれないから。



- ・くまくんがおおきくてこわかったから。
- ・なにかいわれるといやだから。

ダメ

まよったときは、どうしたらいいのかな。